

日時：2018年9月22日(土)

12:00～16:30

場所：津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス
3階 広瀬記念ホール

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

アクセス



スケジュール

12:00～14:00 地域連携イベント

14:00～14:30 What's SDGs?

SDGs啓発ビデオ(東京ガールズコレクション)

14:30～15:00 鯖江市長基調講演

15:00～15:30 鯖江市JK課 津田塾梅五輪プロジェクト 紹介

15:30～15:35 休憩

15:35～16:15 パネルディスカッション

(高橋学長、大島副学長、鯖江市長)

16:15～16:30 鯖江の雑貨等が当たる抽選会

基調講演

「鯖江市の女性活躍の歴史と現状」

～国連で高い評価を受けた鯖江市のSDGsモデル～



牧野 百男 鯖江市長

「若者が住みたいくなる 住み続けたいくなるまちづくり」を目指し、市民協働、若者、ITを武器にまちづくりを推進。

また国連で採択された持続可能な開発目標SDGsの理念に賛同し、女性も若者も高齢者もそして障がい者も“誰一人取り残さない”地域社会の実現を目指し、市民や経済界、市民団体、大学等と協働で一丸となって取り組んでいる。

企画趣旨

日本国内の幸福度ランキングで福井県は3年連続で1位。なかでも鯖江市はメガネ、繊維、漆器などの伝統産業が新たな発展を遂げており、これは国連の「持続可能な開発目標(SDGs=Sustainable Development Goals)」としても評価されています。そして、この鯖江の発展を引っ張っているのが女性たち。なぜ、鯖江の女性たちはこのように活躍しているのか。その謎に迫ります。



鯖江市JK課

JK課プロジェクトは、女子高校生たちが自ら考え、やってみたいまちづくり活動を提案し、大人や地域を巻き込みながら一緒に具体化していく実験的な市民協働推進プロジェクトです。



津田塾梅五輪プロジェクト

千駄ヶ谷キャンパスは、2020東京五輪会場に最も近いキャンパスです。梅五輪プロジェクトでは、鯖江市などの自治体や地域社会と連携し、東京五輪を契機とした文化交流や地域振興などの活動を行っています。

パネルディスカッション

「鯖江市は全国のSDGsモデルになりうるか」



高橋 裕子 津田塾大学 学長

「アメリカ社会史(教育・家族・女性)、ジェンダー論」

専門は日米女性史の視点から捉える津田塾大学研究。さらに、日米の女子大学の歴史とその現代的な意義もフィールドとしている。



大島 美穂 津田塾大学 副学長

「北欧におけるSDGs事例」

専門は北欧を中心とした欧州国際政治。グローバリゼーションの中での地域の独自性、安全保障、環境問題を研究。



牧野 百男 鯖江市長

「地方から国を変える」高い志と強い意気込みで、「河和田アートキャンパス」、「地域活性化プランコンテスト」、「オープンデータ」など、全国に先駆けて様々な事業に挑戦している。



ファシリテーター

曾根原 登 津田塾大学総合政策研究所 所長
社会データの収集・分析を行い、タイムリーに人間・社会にフィードバックする社会データ基盤の実現を目指し、合理的な意思決定を支援する「データ中心政策科学」を研究。

地域連携イベント

12:00～14:00



Find Yourself

鯖江は国産眼鏡の9割以上を生産する眼鏡の産地。様々なカタチ、彩のメガネの中から本当に自分を引き出す眼鏡を見つけよう！



鯖江の雑貨

鯖江で作られた眼鏡素材の雑貨や、漆タンブラーなど、時代に合った漆器製品を販売。



鯖江スイーツ大試食会

JK課プロデュースのかわいいスイーツが大集合！



化粧品を通して、すべての女性が輝く社会へ

女性の活躍を推進するシャンソン化粧品の取り組みを紹介。
コスメのタッチ&トライやメイクアドバイスも。